

## 名古屋テレビ塔と久屋大通公園

朝から市役所で会議があったので、栄で降りて歩くことにした。混雑した地下鉄より、気持ちよく朝の散歩ができた。テレビ塔に向かって「100 祓道路」=久屋大通公園を突き進んだ。久しぶりにテレビ塔をじっくり眺め、いろいろな角度から写真を撮った。

朝日新聞 3 月 25 日夕刊でテレビ塔が詳しく紹介されていた。完成は東京タワーよりも 4 年早い 1954 年 6 月である。高さは 180 祓あるが、航空法の規制前なので、東京タワー



などのように赤と白に塗る規制を免れている。名古屋テレビ塔会社の大沢社長は、全国で最も早かったのは土地区画整理事業の先進的な取り組み、「名古屋城天守閣が戦災で焼失し、代わりの観光名所をと、地元がまとまりやすかった」ことによる。

テレビ塔東北の脚のあたりに「蕉風発祥の地」の看板が立っていた。芭蕉が「野ざらし紀行」の旅の途中なごやに立ち寄り、「冬の日」の歌仙を興行した場所だ。歴史を感じつつ先に進むと、ケヤキ並木などが続き、遠くに眺めるテレビ塔もなかなか風情がある。

地上波テレビが全面的にデジタルに移行する来年 7 月、アナログ波用のテレビ塔は役目を終え、「工作物」としての設置根拠を失う。「かつて電波を出していたテレビ塔は立派な産業遺産であり文化遺産です。東洋のエッフェル塔と呼ばれた形を取り戻せます」と大沢社長。役割が変わって新たな観光拠点をめざすという。名古屋市の観光戦略ビジョンでも、テレビ塔と久屋大通公園に注目していきたい。



(2010 年 3 月 29 日 記)